

5/1
朝日

高浜1・2号60年運転申請

関西電力は30日、運転開始から40年になる高浜原発1、2号機（福井県）について、60年まで運転を延長するための申請を原子力規制委員会に提出した。運転期間を原則40年とし、例外として最長20年の延長を認める制度ができて以来、申

請は初めて。新規制基準による通常の審査も通っていないと認可が出ないため、来年7月の期限に間に合うかどうかが焦点になる。1号機は昨年11月に運転開始から40年がたち、2号機は今年11月に40年を迎える。いずれも新制度の経過

措置で来年7月が延長認可の期限とされ、認可されなければ廃炉を迫られる。関電は、昨年12月から建物のコンクリートや原子炉内の劣化状況などを調べる「特別点検」を実施、延長しても問題ないと判断した。規制委は点検結果を踏ま

え延長の可否を審査する。ただ、認可は関電が3月に申請した、新基準に基づく審査を通るのが前提。2基は燃えにくいケーブルを使っていないなど新基準を満たすうえでの課題もある。また、関電は5月中旬から美浜原発3号機（福井県）の運転延長に向けた特別点検を始めることも明らかにした。8月中旬までかかる見通し。（川田俊男）